

コンピュータビジョン研究ユニット

コンピュータにより良く外界の状況を認識・理解させるという、いわばコンピュータの「眼」をつくる技術である、コンピュータビジョン技術の研究開発を行うユニットです。外界の状況を観測するための計測技術から、画像認識、物体検出、三次元理解、マルチモーダル処理、拡張現実・ロボティクス応用などの環境情報の理解・計測に至るまで、多角的な技術開発を行うことで産学両面に貢献することを目指します。

ユニット参加メンバー

五十川麻理子（ユニット長）、柴田優斗（副ユニット長）、斎藤英雄、青木義満、池原雅章



五十川麻理子
ユニット長

マルチモーダル
センシング
機械学習



青木義満
画像センシング
画像認識

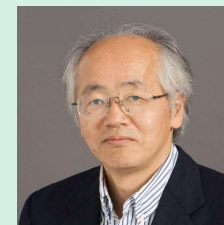


柴田優斗
(青木義満研 Ph.D.)
副ユニット長



多様な実世界環境

計測
信号処理
認識・理解



池原雅章

信号処理
画像の変換・圧縮

推定・認識結果例



人物姿勢・形状



画像識別ラベル



斎藤英雄

三次元理解
画像認識
認識とその応用

ロボティクス、自動運転、スポーツ、医療、など多くの分野への貢献